



# ぶどう特報 #4



2023年5月1日  
JA 中野市園芸課  
JA 中野市ぶどう部会

露地の発芽は昨年より9日程度早い状況です（過去最速）。近年、展葉期前半は進捗が不安定な傾向ですが、主要初期密度抑制のため、生育ステージを確認して、適期散布に努めてください。

年度	巨峰発芽	シャイン発芽	巨峰開花	シャイン開花	特記
平年	4/26	4/30	6/5	6/10	過去10年平均値
2022 (R4)	4/25	4/28	6/10	6/15	開花停滞あり。平年比+5。
<b>2023 (R5)</b>	<b>4/16</b>	<b>4/19</b>	<b>5/31頃</b>	<b>6/3頃</b>	<b>発芽時点平年比-9日。</b>

## 【5月上中旬の定期散布 \*共通】

散布時期	展葉6枚目頃 *生育状況を確認して散布	巨峰・ナガノパープル他 散布日：5月 日 散布量： リットル	シャインマスカット他 散布日：5月 日 散布量： リットル
散布薬剤	水 1000 展着剤（ハイテンパワー） 10 ml トランスフォームフロアブル 50 ml（3日前、3回） オーソサイド水和剤 80 125 g（30日前、3回） ※グリーンデイズ 等 100 g（※葉面散布剤 詳しくは裏面）		
散布量	3000/10a		
適用病害虫	黒とう病、べと病、灰色かび病、晩腐病、カイガラムシ類		
注意事項	① 展葉3枚を散布した場合は前回から約10日後の散布を目安とする。 ② 薬剤を新梢や花穂だけでなく、主幹や主枝にも丁寧に散布する。（カイガラムシ対策）		

## 【5月中旬の定期散布 \*共通】

散布時期	展葉9枚目頃 *生育状況を確認して散布	巨峰・ナガノパープル他 散布日：5月 日 散布量： リットル	シャインマスカット他 散布日：5月 日 散布量： リットル
散布薬剤	水 1000 展着剤（ハイテンパワー） 10 ml ドーシャスフロアブル 50 ml（60日前・3回） グリーンデイズ 等 100 g（※葉面散布剤 詳しくは裏面）		
散布量	3000/10a		
適用病害虫	べと病、黒とう病、晩腐病		
注意事項	① カスミカメムシ類・カイガラムシ類対策：コルト顆粒水和剤3,000倍（前日、3回）を加用する。特にカスミカメ類は、下草刈り後の薬剤散布が効果高い。		

## 【5月中旬の散布 \*種なし共通】

散布時期	展葉9枚目頃 *満開予定日の14日前～	巨峰・ナガノパープル他 散布日：5月 日 散布量： リットル	シャインマスカット他 散布日：5月 日 散布量： リットル
散布薬剤	水 1000 展着剤（ハイテンパワー） 10 ml ストマイ液剤 20 100 ml（満開予定日の14日前～開花始期、1回）		
散布量	3000/10a		
使用目的	無種子化		
注意事項	① 有核巨峰には絶対に飛散しないようにする。 ② 満開予定の14日前は概ね展葉9枚目頃に該当するので、生育状況を確認し、早めに散布完了する。 ③ 品種間で開花時期が異なるため、混植園では開花状況を確認して散布する。 ④ 花穂にしっかりと薬剤がかかるように丁寧に散布する。（散布量が少ないと種混入の恐れあり）		

8月上旬に栽培日誌の配布があるまでは、ぶどう特報に散布日・散布量を記録し、保管してください。

裏面もお読みください。

参考：ぶどう用葉面散布資材

◆ 使用時期目安：展葉 6 枚目～落花直後・袋掛け後（展着剤を加用する時期と同じ）

※落花 10 日以降～袋掛けまではブルーム溶脱の恐れがあるため混用しない。

◆ 農薬混用：可

◆ 近年の市内土壌分析結果から『マンガン不足』の園地が非常に多く確認されました。『グリーンデイズ』は不足気味のマンガン・ホウ素を補給でき、さらに苦土による葉色向上が期待できます。

資材名	倍率	成分・使用目的	規格
☆おすすめ グリーンデイズ	1,000	苦土・マンガン・ホウ素等の補給 葉色向上・ゴマ塩果対策・花ぶるい防止 等	1 kg
☆おすすめ オルガミン	1,000	苦土・マンガン・ホウ素・カリ等の補給 葉の厚み・受光体制向上・食味向上 等	1L・5L・10L・20L
ビックマグ	1,000	苦土補給 葉色向上	1 kg

★葉面散布は、微量元素の補給で葉や樹を健康にし、環境変化等に強い樹相を作る手助けをします

### シャインマスカット未開花の症状について \*展葉 5・6 枚目頃から確認可能

- ① 花冠（キャップ）のしわが無い・判別がつきにくい。\*正常な花蕾はピーマンのような形（下図参照）
- ② 開花前になっても緑色が濃い。\*正常な花蕾は開花期になると黄緑色に変色する。
- ③ 未開花症状の花蕾は正常なものとは比べ緑色が濃く、丸い（扁平）。
- ④ 房先端の花蕾が房上部と比較して小さい。



未開花の粒

- ① 花冠のしわが少ない
- ② 花蕾が扁平（イチジク型又はまんじゅう型）
- ③ 開花前も濃い緑色



正常な房の粒

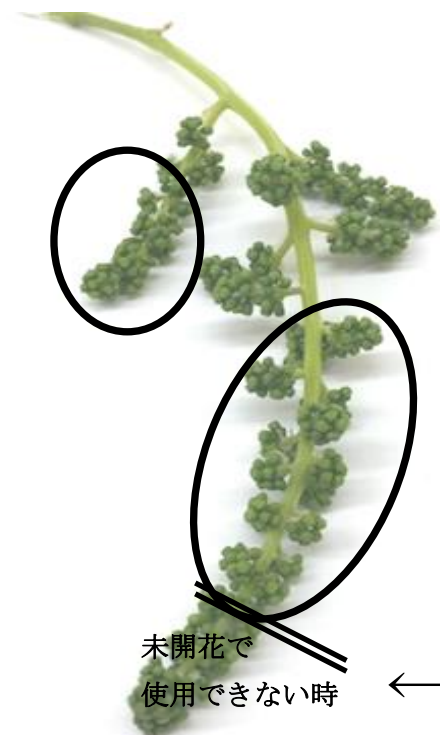
- ① 花冠のしわが多い。ぼこぼこしている
- ② 花蕾が長細い（ピーマン型）
- ③ 開花前は薄緑色。

### 対策 \*症状をよく確認し、開花程度を見ながら房切りを実施する

- ① 健全な部分（上部や中間部の支梗）を利用した房切りを実施する。
- ② 房の先端を利用する場合は房切りを長めにする。

未開花が確認された場合 ⇒

- ① 長めに房切りしておき、先端の被害程度に応じて主穂中間部を使用。
- ② ショルダーや上から 4・5 番目の支梗を使用。



未開花で  
使用できない時

←切る

特報 #6 : 5/15 付け発行予定。定期散布等記載予定